

石川県金沢市 クーリングシェルター指定施設ごとの特色ある熱中症対策の取組

- 金沢市では市内の公共施設37か所、民間施設（薬局や大型商業施設等）20か所をクーリングシェルターに指定した。 ※令和7年度からは新たに民間施設も指定
- 熱中症特別警戒アラートや熱中症警戒アラートの発表有無にかかわらず、夏季の高温時に休憩できる場所として利用可とし、市民への普及啓発を行った。

■ クーリングシェルターでの取組内容

- 期間：令和7年7月1日（火）～9月30日（火）
- 場所：公共施設37か所、民間施設20か所
- 設備：施設により異なる
 - ・ ウォーターサーバーの設置
 - ・ 熱中症予防動画の放映
 - ・ 「木の文化都市・金沢」らしい雰囲気の会場づくり
 - ・ 熱中症対策啓発リーフレット、スタンドパネルの設置



▲スタンドパネル

<参考> 「金沢市における木の文化都市の継承と創出の推進に関する条例」
（市の施設における積極的な木の利用等）

第13条 市は、自ら行う建築物等の整備に木材及び木材を使用した製品を率先して利用するよう努めるものとする。

石川県金沢市 クーリングシェルター指定施設ごとの特色ある熱中症対策の取組

- 金沢市役所第一本庁舎のクーリングシェルターは、観光地に隣接しており、ガラス張りで外からの視認性が高いため、気軽に立ち寄れる休憩スペースとして**1日に200名**程度の利用があった。



▲金沢市役所第一本庁舎

●氷室の氷

毎年6/30の氷室開き※にあわせて、7/1に市役所で展示クーリングシェルターとコラボして、涼しさを演出

※氷室開き

江戸時代加賀藩が徳川家に氷を献上していたことに由来する伝統行事。

江戸時代には氷は非常に貴重であったため冬になると「氷室」と呼ばれる貯蔵庫(氷室小屋)に雪を詰め、保管した。そして、旧暦6月1日を「氷室の朔日」と呼び、保管していた雪氷を切り出して、徳川家に氷を献上していた。

これを再現した催しを「氷室開き」として、毎年6月30日に湯涌温泉にて行っている。氷室小屋で仏事後、切出された雪氷を薬師寺へ奉納する。

(引用：金沢市観光協会)

●パンチカーペット (青色)

クーリングシェルターの視認性と涼しさを演出

●木製ベンチ

既存のベンチを活用し、「木の文化都市・金沢」らしい会場づくりを演出



▲金沢市役所第二本庁舎

■工夫した点

- 金沢市役所第一本庁舎は青いカーペットで涼しさを表現し、ガラス張りの立地を利用して、外から見てわかりやすく入りやすい空間を意識した。大塚製薬（株）との連携で「はたらく細胞」の動画を流し、熱中症の知識も提供できるようにした。

石川県金沢市 クーリングシェルター指定施設ごとの特色ある熱中症対策の取組

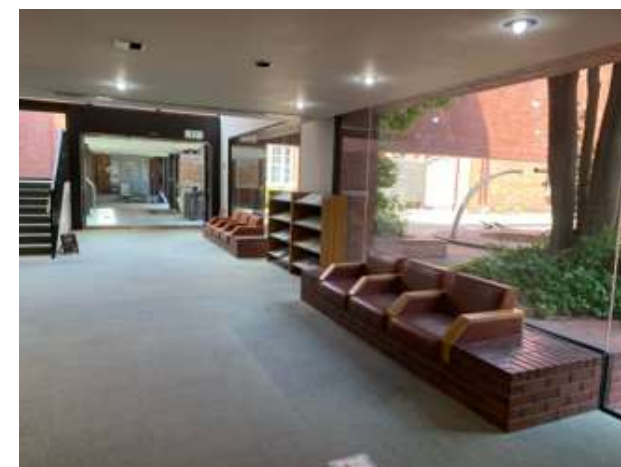
簡易型



▲金沢学生のまち市民交流館



▲泉野図書館



▲玉川図書館



▲近江町交流プラザ



▲金沢プール



▲鳴和台体育館

石川県金沢市 クーリングシェルター指定施設ごとの特色ある熱中症対策の取組

子ども向け

■ 泉野図書館

- 夏休み期間中、小学生の利用が非常に多いため、小学生の自由研究に役立つような熱中症に関するクイズなどを行った。



- 金沢市職員が講師を務め、図書館を利用する小学校4～6年生を対象に、熱中症に関する基本的な講義を実施した。

熱中症についての
特集コーナーも設置！



高齢者向け

■ 金沢健康プラザ大手町

- 高齢者の利用が多い施設であるため、高齢者の方が使いやすい熱中症対策啓発物品を展示した。



令和6年度に取ったアンケート結果から
展示するグッズを選定！

- 帽子、ネッククーラー、日傘、うちわ等を展示し、実際に手に取ってもらうなど、工夫を凝らした取り組みを実施した。あわせて、高齢者向けリーフレットの配布も行った。